

非認知能力育成を目指した「朝の会」「帰りの会」の具体例

前期ブロック(幼稚園年中から4年)編

1. 「朝の会」について

前期ブロックの朝の会は、一日の始まりに安心感と意欲を育てる時間です。挨拶や歌、簡単な発表を通して心を整え、仲間と温かくつながります。自分の思いや考えを伝え、友達を認める経験を積むことで、自己肯定感やコミュニケーション力を高めます。

① 朝のあいさつ・健康観察

※ 明るい声であいさつを交わし、健康や気分を確認します。仲間と笑顔で始めることで心がほぐれ、安心感と一体感が生まれます。

② 今日のめあて発表

※ 一人一人が自分の言葉で今日の目標を話すことで、思考が整理され意欲が高まります。小さな目標を立て、達成を意識することで、自己肯定感と主体性が育ちます。

③ 歌やリズム活動

※ 朝の歌や手遊びを通して、体と心をほぐしながら楽しくスタートします。音やリズムの共有が表現の喜びを生み、集中力や協調性を高めます。笑顔広がる時間です。

④ 友達とのふれあいトーク

※ ペアやグループで話題を共有し、互いの思いや考えを聞きます。相手の言葉に耳を傾ける中で、共感する心とコミュニケーション力が自然に育ちます。

⑤ 先生のお話

※ 教師の温かい語りかけで安心感を得て、一日への意欲が高まります。子どもの努力や思いを受け止め、信頼関係を築くことで、前向きな気持ちが芽生えます。

2. 「帰りの会」について

帰りの会は、一日の学びや出来事を振り返り、達成感と感謝を味わう時間です。今日のよかったことを共有し、友達の頑張りに気づく場とします。教師が温かい言葉で締めくくすることで、自己肯定感や安心感を育て、明日への意欲を生み出します。

① 帰りのあいさつ

※ 一日の終わりを丁寧にしめくくすることで、けじめをつけ、心を落ち着かせる。仲間とともに「今日を大切に終える」意識を育み、規範意識と礼儀の心を深める。

② 今日のよかったこと発表

※ 一人一人が一日の中で感じた喜びや達成を共有することで、自分の良さに気づき、他者の努力にも気づけるようになる。自己肯定感と前向きな気持ちが豊かに育つ。

③ ありがとうタイム

※ 友達や先生への感謝を言葉にして伝える時間。感謝を通して互いを認め合い、他者理解と共感性が深まる。温かな関係性が翌日への活力を生む。

④ 明日の準備確認

※ 翌日の予定や持ち物を自分たちで確認し合うことで、計画性・責任感・自己管理能力を高める。自分の生活を自ら整える意識が身につく。

⑤ 先生のまとめの言葉

※ 先生が子どもたちの一日の努力を具体的に認め、成長を実感させる言葉をかける。安心感と「明日も頑張ろう」という意欲を引き出し、自己効力感を高める。